

日本ヴィクトリア朝文化研究学会

第20回 全国大会

日時：2020年11月28日（土）10:00～17:50 Zoom開催（*詳細は後日MLにて案内します）

研究発表（10:00～12:25）第一発表（10:00～10:45） 第二発表（10:50～11:35） 第三発表（11:40～12:25）

第一室

司会：高知大学 関良子

1. ウィリアム・モリスの工芸論における宗教性について——ジョン・ラスキンからの影響を中心に

東北大学（院） 島貫 悟

司会：順天堂大学 庄子 ひとみ

2. オフィーリアとセクシュアリティ—女性作家メアリ・カウデン・クラークのオフィーリア像をもとに—

新潟大学（研究員）風間 彩香

3. 後期ヴィクトリア朝文芸誌上に辿る著作権意識とプロフェッショナルリズムの高まり

大阪成蹊短期大学 麻島 徳子

第二室

司会：早稲田大学 木村 晶子

1. 「障害者」像に潜むジェンダー——*The Moonstone* における障害の克服と限界

学習院大学（院） 後藤 千宏

2. 悪夢の語り：ロバート・ルイス・ステイヴンソンの印象主義的技法

駒澤大学（兼） 守重 真雄

3. 葬儀から読む『オリヴァー・ツイスト』

青山学院大学 込山 宏太

シンポジウム1（13:30～16:00） 芸術のための芸術／世界のための芸術——開かれた唯美主義の形態

司会・報告：日本女子大学 川端 康雄

報告：慶應義塾大学 横山 千晶

報告：フェリス女学院大学 近藤 存志

報告：慶應義塾大学（兼） 加藤 千晶

シンポジウム2（13:30～16:00）

ヴィクトリア朝の書簡—国政から私信まで

司会・報告：駒澤大学 川崎 明子

報告：関東学院大学 君塚 直隆

報告：明治大学 小宮 彩加

特別講演（16:15～17:30）

司会：甲南大学 中島 俊郎

帝都に響き渡る咆哮——近代ヨーロッパの

動物園・水族館文化

関西大学 溝井 裕一

総会（17:35～17:50）

司会：同志社大学 玉井 史絵

懇親会（18:00～19:00）リモート開催

日本ヴィクトリア朝文化研究学会

The Victorian Studies Society of Japan

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部

玉井史絵研究室内 Tel: 0774-65-7223

E-mail: victorianstudies.japan@gmail.com HP: <http://www.vssj.jp/>



Brighton Aquarium